

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

令和5年3月17日

東京消防庁

神田消防署長

殿

届出者

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番3号

住 所

東京消防庁神田消防署

氏 名

神田消防署長

川原 省太

電話番号

電 話 03(3257)0119

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。

記

消防 対 象 物	所 在 地	東京都千代田区外神田4-14-3(4)		
	名 称	東京消防庁 神田消防署合同庁舎		
	用 途	(16)項・ロ		
	規 模	地上	12 階 地下	2 階 延べ面積 12,065 m ²
消 防 用 設 備 等 (特 殊 消 防 用 設 備 等) の 種 類 等		消火器具 屋内消火栓設備 泡消火設備 自動火災報知設備 非常警報器具及び設備 避難器具 誘導灯及び誘導標識 消防用水 排煙設備 連結送水管 非常コンセント設備 非常電源（自家発電設備） 非常電源（蓄電池設備） 総合操作盤 防火戸・防火ダンパー等連動設備		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		※ 備 考

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。

3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。

4 ※印欄は、記入しないこと。

泡 消 火 設 備 点 検 票

(固 定)

名 称	東京消防庁 神田消防署合同庁舎				防 火 管 理 者	
所 在	東京都千代田区外神田4-14-3(4)				立 会 者	
点検種別	機 器 ・ 総 合		点検年月日	令和 5 年 2 月 19 日 ~ 令和 5 年 2 月 22 日		
点 検 者	氏名	氏名		点 検 者	株式会社 祐エンジニアリング	
				所 属	TEL 03-5905-2411	
点 検 設 備 名	ポンプ	製造者名	川本製作所	電動機	製造者名	富士電機
		型 式 等	KTY1005A4M18		型 式 等	MRA7169A
					泡消火 薬剤混 合装置	製造者名 能美防災 型 式 等 MPD-101
点 検 項 目	点 検 結 果				措 置 内 容	
	種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		判 定	不 良 内 容		
機 器 点 検						
水 源	貯 水 槽	種別	コンクリート床下水槽	○		
	水 量		18 m³	○		
	水 状			○		
	給 水 装 置		ボールタップ式	○		
	水 位 計		電極方式	○		
	圧 力 計			/		
	バ ル ブ 類			○		
加 圧 送 水 装 置	ボ 電 動 機 の 制 御 装 置	周囲の状況	B2階 消火ポンプ室	○		
		外 形	ユニット型	○		
		表 示		○		
		電圧計・電流計	212 V A	○		
		開閉器・スイッチ類	MCB-3P-100A	○		
		ヒューズ類	A	○		
		継 電 器		○		
		表 示 灯		○		
		結 線 接 続		○		
		接 地	D 種接地	○		
予 備 品 等		○				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

加 圧 送 水 方 式 装 置	ポ 動	手 操 起 動 式 作 起 動 部	周囲の状況	制御盤及び各放射区域	○		(備考記入)
			外 形		○		
			標 識		○		
			機 能		○		
	装 置	自 動 式 起 動 装 置	起開圧カ 動用開スイッチ	設定圧力 0.47 MPa	○		
			起動用圧力 タンク	0.78 MPa	○		
			起動圧置 機 能	作動圧力 0.47 MPa	○		
			火知感 災装置	専用 兼用	/		
	機 能	電 動 機	感知器	72℃×70個	○		
			外 形		○		
			回 転 軸	1460 rpm	○		
			軸 受 部	無給油式	○		
			軸 継 手	フランジ式	○		
			機 能	スターデルタ方式	○		
			外 形	100φ×900 $\frac{mm}{mm}$ ×78m	○		
			回 転 軸	1500 rpm	○		
			軸 受 部	無給油式	○		
			グランド部	フランジ式	○		
			連成計・圧力計	㊦ -0.02 MPa ㊦ 0.84 MPa	○		
			性 能	0.84 MPa 900 L/min	○		(61A)
	水 方 式 装 置	呼 水 装 置	呼 水 槽	100 L	○		
			バ ル ブ 類	止水弁×2 逆止弁×1	○		
			自動給水装置	ボールタップ方式	○		
			減水警報装置	電極方式	○		
フ ー ト 弁				○			
性能試験装置				○			
高 架 水 槽 方 式		MPa	/				
	圧 力 水 槽 方 式		MPa	/			
減 圧 の た め の 措 置			/				
配 管 等	管	管 ・ 管 継 手	主管(開)	○			
		支持金具・つり金具		○			
		バ ル ブ 類	試験配管(閉)	○			
		ろ 過 装 置		○			
		逃 し 配 管		○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

泡貯 消火 薬槽 剤等	消火薬剤貯蔵槽		水成膜(メガフォーム)	○		(備考記入)
	消 火 薬 剤		300 L	×	備考記入	
	圧 力 計		0.87 MPa	○		
	バルブ類		送液管(開) 排水管(閉)	○		
泡混 消火 薬装 置等	外 形			○		
	薬剤混合装置		能美 MPD-101	○		
	加圧送液装置			/		
泡放 出口	外 形		泡ヘッド 96個	○		
	泡放出障害		B2階 10区域	○		
	未警戒部分			○		
流圧 水検 知装 置	バルブ本体等		自動警報弁 ※ 備考記入 MPa	○		
	リターディング・チャンバー			○		
	圧力スイッチ		0.1 設定圧力 MPa 0.1 作動圧力 MPa	○		
	音響警報装置・表示装置			○		
一斉開放弁(電磁弁を含む。)			減圧開放 10台	○		
防護区画 (高発泡を用いる設備に限る。)	区画変更等			/		
	開口部の自動閉鎖装置			/		
非常停止装置(高発泡を用いる設備に限る。)				/		
泡放 射用 器具 格納 箱等	泡放射用 器具格納箱	周囲の状況		/		
		外 形		/		
		表 示		/		
	ホース・ ノズル	外 形	ホース m× ノズル径 本 mm	/		
		ホースの耐圧性能		/		
	ホース接続口		/			
	開 閉 弁		/			
	表 示 灯		/			
耐 震 措 置		吸込側、吐出側、フレキシブル	○			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

		総 合 点 検							
固定式の泡消火設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置		／				
			表示・警報等		／				
		電動機の運転電流		A	／				
			運転状況		／				
		一斉開放弁		／					
				／					
		分布等	低発泡を用いるもの		／				
			高発泡を用いるもの		／				
		減圧のための措置		／					
				／					
	高架水槽方式等	表示・警報等		／					
			一斉開放弁		／				
		分布等	低発泡を用いるもの		／				
			高発泡を用いるもの		／				
減圧のための措置			／						
			／						
移動式の泡消火設備	ポンプ方式	起動性能等	加圧送水装置		／				
			表示・警報等		／				
		電動機の運転電流		A	／				
			運転状況		／				
		減圧のための措置		／					
				／					
	高架水槽方式等	発泡倍率等		／					
		表示・警報等		／					
		発泡倍率等		／					
		減圧のための措置		／					
備考	※ 締切運転 0.98MPa 40A ※ 3F通信室、1F受付 操作BOX有り ※ ポンプ故障・ポンプ電源断・ポンプ運転、 呼水槽減水 … 受信機に表示 ※ 流水検知装置・圧力検知装置（バルブ本体等） 自動警報弁（1次）0.84MPa （2次）0.90Pa ※ 泡消火薬剤はPFOSを含有しています（泡放出試験未実施） （大日本インキ化学工業㈱ カブフォーAF623 泡第1～6号 2004年製 水成膜3%） R04.02.26 泡原液採取、分析依頼 → R04.04.14 不合格								
	測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名
		回路計	SP-18D		三 和				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。